

【活用にあって】

語彙力を付けるには、授業などで言葉の出たとき、そのときを逃さず関連する言葉をまとめりとして示すことです。「～立ち」なら、「生い立ち」「巣立ち」「独り立ち」「顔立ち」「目鼻立ち」なども合わせて示すことができます。様子を表す言葉なら、「踏ん反り返る」「地団太を踏む」などを提示してもよいでしょう。

解答例

問1：「『どうだ』と言わんばかりに」という表現や写真の様子を参考にして考えましょう。

問2：仁王の像のように力強く、足を広げて立つこと。

問3：逆立ち：両手を地につけ、足を上にあげた姿勢になること。

棒立ち：おどろいて、または、ぼんやりして、まっすぐに立っていること。

総立ち：全部の人が立ち上がること。

(三省堂国語辞典第7版より)